

# 水の青枯病菌検査

〈対象作物〉

野菜類・花き類

## 青枯病菌

- 病原** *Ralstonia solanacearum* (細菌)
- 感染** 土壌伝染、汁液伝染、水媒伝染
- 症状** 日中に生長点が萎れ、次第に株全体が萎れる。葉が青いまま萎れるのが特徴。茎の導管が褐変する。



茎の切り口から  
白い筋状に流れ出る青枯病菌



株全体の萎凋



左：青枯病菌なし、右：青枯病菌あり

## このような場合におすすめです！

- 原水、排水等に青枯病菌がいるか調べたい
- 殺菌処理を行った水に、青枯病菌が含まれるか調べたい

## 検体の送付方法 常温便(夏季高温期はクール便)

- 必要な液量は、500ml です。水量が取れない場合はご相談ください。
- ミネラルウォーターの空ボトルに、検査対象の液で一度すすいでから入れてください。
- 採水場所(例：地下水、養液タンク、排水、ハウス番号等)をご記入ください。
- 液漏れ防止のため蓋はしっかり閉め、ポリ袋等に入れて密封してください。採水後は、直射日光や高温を避け、段ボールに入れてご送付ください。



## 検査の方法

青枯病選択培地にて検出したコロニーを下記のいずれか、もしくは組み合わせで判定します。  
コロニーの形態観察/イムノクロマト法/  
遺伝子検査(PCR法)

## 注意事項

菌の密度や病原性の有無までは判定できません。

## 報告書

- 水中における青枯病菌の有無を検査します。
- 検体の受領から結果のご報告まで、7~10日程度かかります。

